

NIESSING | ニーシングのご案内

宙に浮いたダイヤモンド

究極のシンプルを追求する、ドイツのモダンジュエラーNIESSING〈ニーシング〉



»Philosophy for Design

ニーシングのジュエリーはドイツの造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。どの作品もシンプルなアイデアを表現しており、それが研ぎ澄まされた美しさの源になっています。それぞれのジュエリーが語りかける、それぞれのストーリー。身につける人は、それにより自己表現することができるのです。

ニーシングはこの「雄弁な美」、コミュニケーション性こそが時代の求めるデザインと考えています。そしてニーシングのジュエリーは、140年の歴史の中で培われたクラフトマンシップ、ジュエリー職人たちの熟練した技術によって支えられています。

»Hitsotry

1873年ドイツ西部、国境近くの美しい中世の都市、フレーデンにヘルマン・ニーシングが創設したジュエリーのワークショップからニーシングの歴史は始まりました。創業141年。ニーシング本社とファクトリー、隣り合う「ホホワイトハウス」と呼ばれるデザイン室は三位一体となり、ジュエリーを次々に生みだしています。長い歴史の中で、ニーシングが伝統的ジュエラーからコンテンポラリージュエラーに転換したのは1970年代。1979年のThe Niessing Ringの完成を待ち、ニーシングは新世紀へ移行しました。四半世紀を経た現在もそのデザイン哲学は継承され、マイスター達の卓越した技術力に支えられながら、革新的ジュエリーを創作し続けています。

»The Niessing Ring

まるでダイヤモンドが浮遊しているかのようなデザイン。

宝石を留める爪がないため、あらゆる角度から光を集め、ダイヤモンド本来の美しさを最大限に引き出すことに成功した画期的なリング。

1979年に開発され、後に特許を取得した「ザ・ニーシングリング」誕生の背景には、ある一人の女性の存在がありました。創業者の孫娘、ウズラー・エクスナー（中央写真の女性）。文化や芸術に造詣が深く、既成概念にとらわれない自由な発想を持つ彼女は、ドイツの造形学校「バウハウス」の哲学に深く共感。リングに不可欠なアームと石の二つだけを残し、石を留める醜い爪をデザインから消失させることを考えました。要請を受けたデザイナー、ウォルター・ウィテック（右写真の男性）と職人達がウズラーの発想を形にできたのは、実に2年後のこと。「物事を純粋に、さらに明確に捉えるため、本当に必要なものだけを残す」バウハウスの理念を体現したジュエリーが完成しました。地金の張力のみで宝石を完璧に支える画期的な発明は、世界に大きな衝撃を与えたのです。ダイヤモンドがあらゆる角度から光を集め、本来の美しさを最大限に発揮するこの独自のセッティング方法はニーシングが開発した背景が明確に分かるように「ニーシングセッティング」と呼ばれ、現在も見る人を驚嘆させるデザインと人間工学に基づく素晴らしい着け心地でロングセラーを続けています。美術品としてもその価値を高め続ける「ザ・ニーシングリング」。ニーシング=モダンジュエリーの地位を揺るぎないものにしていきます。

- 1979年 ウォルター・ウィテックがニーシングリングを発明する
- 1993年 ライプツィヒ・グラシ博物館にコレクション展示される
- 1994年 国立工芸美術館（ノルウェー・オスロ）にコレクション展示される
- 1999年 ブッセ・ロングライフデザイン最優秀賞受賞
- 1999年 科学博物館（オーストリア・ウィーン）にコレクション展示される
- 2000年 芸術品として認められウォルター・ウィテックのオリジナル作品として著作権を得る
- 2003年 美術工芸博物館（ハンブルグ）にコレクション展示される



≫Factory

ニーシングのほとんど全てのジュエリーは、ニーシング本社で制作されています。地金の精錬から最終工程の仕上げまで自社ファクトリー内で行う、世界でも数少ない機能を持ったファクトリーのひとつです。ひとつのジュエリーが完成するためには、熟練したスペシャリスト達の手から手へと渡る多くのプロセスが必要です。デザイナー達の自由な感性を形にするために、ジュエリー職人達は時として未開の技術領域にチャレンジすることも躊躇しません。ほとんどのジュエリー職人はニーシングに永年従事し、長い経験の中で培われたその専門的技術や知識を後輩へと受け継いでゆきます。こうして技術はより磨かれ、専門的知識はさらに高められてゆくのです。

≫Forging Process

ニーシングでは地金のバーを、何度もプレス機にかけて圧縮します。この圧縮により貴金属の密度を高め、強度のある地金を作り出します。この工程を鍛造と呼びます。こうして作られたリングは耐久性に優れ、ゆがみにくく、永年のご使用にふさわしいものになります。鍛造製法は量産には向きません。ニーシングのリングは、お客様のオーダーを受けてから、1つ1つ手作りで製作されます。

≫Material, Color

ニーシングのジュエリーメーカーとしての地金に関する知識の豊富さは他に類をみないほどで、製品に使用されるほとんどすべての素材を自社ファクトリーで製造しています。専属の職人が生み出すこだわりの技法がジュエリーに彩りを与えてくれます。

≫商品構成

ニーシングのジュエリーは代表作品「ザ・ニーシングリング」とシンプルで研ぎ澄まされたデザインの「ウェディングリング」、自由な発想から生まれる、ネックレスを中心とした「ジュエリーライン」とコンテンポラリーなデザインをリーズナブルな価格で楽しめる「スチールライン」から構成されています。

